

---

## プレスリリース

---

ロンドン、2020年3月4日 00:01

**2020年のグローバルプラチナ市場は、コロナウイルスによる宝飾品リスクを抱えるが、自動車産業面の好機により均衡が保たれる**

- 新しい2020年の予測では、プラチナの供給は需要を1.5%、または4トンわずかに上回り、均衡の取れた市場となることを示す。
- CO<sub>2</sub>排出量の削減とパラジウム不足への対応からもたらされる好調な産業用および成長を見せている自動車需要に牽引される見通し。
- 2019年に、プラチナの余剰は2018年の25トンから2トンに減少し、総供給量は1%増加し、総需要は11%増加した。

ロンドン、2020年3月4日水曜日: World Platinum Investment Council (WPIC)は、本日、2019年の第4四半期の『*Platinum Quarterly*』を発表しました。これには、2019年の通期と2020年の新予測も含まれています。

2020年にかなりの余剰が出るという以前の予測に反して、WPICは本日、2020年のプラチナ供給が需要をわずかに1.5%、または4トン上回り、合計供給は252トン、合計需要は249トンとなると予測しています。

2020年の需要は、中国の大型車1台あたり、および欧州のディーゼルハイブリッド乗用車1台あたりのプラチナ使用量の増加による自動車需要の伸びと、特にガラス製造業の力強い需要の伸びを反映したものです。

プラチナの需要供給は2019年に同様であり、2018年の25トンの余剰とは対照的に、均衡の取れたプラチナ市場(2トンの余剰)をもたらしています。合計供給量は251トンから253トンへと1%増加し、鉱山からの供給量は横ばいで、リサイクル供給量は2%増加しています。触媒から回収されたパラジウムとロジウムの価値が大幅に増加したことは、使用された自動車触媒の量にいくらかの影響を与えました。2019年の需要合計は、2018年と比較して226トンから251トンへと11%増加しています。投資需要の大幅な増加は、自動車、宝飾品、工業における需要の減少を相殺して余るものとなりました。

一方、世界の宝飾品需要は 2019 年には 7%減少して 65 トンとなり、その大部分は中国 (-14%で 29 トンとなった) で減少した結果となっています。コロナウイルスに対する恐怖心によって世界中の市場が動揺を続けているため、数か月以内にウイルスが収まらない場合、ウイルスの影響がプラチナの需要、特に、アウトブレイクを封じ込めることで既に店舗への来店者数が減少している中国でのプラチナ宝飾品の需要を減少させる可能性があります。

### 投資需要は 2020 年まで継続

2019 年の例外的に高かった投資需要は 37 トン (ETF 保有 31 トン、地金およびコインで 7 トン) であり、2018 年に比べて 37 トン多く、他のセグメントの需要減少を相殺する以上のものでした。

2020 年には、20 トンの総投資需要が予測されており、ETF 保有は 10 トン増加と、2019 年の成長の 3 分の 1 以下で、地金とコインの需要は 9 トンに達すると予想されています。

### 2020 年は自動車用プラチナ需要のターニングポイントになる可能性

自動車部門のプラチナ需要は 2019 年に 7%減少しましたが (2019 年第 4 四半期には 8%減少)、2020 年の予測では、欧州のディーゼルハイブリッド車と中国の大型車のプラチナ需要の増加が見込まれています。自動車関連の需要は 2020 年には 94 トンと、控えめに増加することが予測されています。

現行のパラジウムの入手不足は 2020 年にはさらに顕著となり、プラチナが自動車触媒のパラジウムを代替し、プラチナ需要が増加する可能性がさらに高くなります。パラジウム市場参加者による予測では、2020 年のパラジウム不足は、現時点で 28 トンから 59 トンの範囲にあります。パラジウムの供給が非常に高い価格に対応できない、また中国の多くの自動車メーカーが、短期の自動車生産のためにスポット市場で金属を購入するという認識が広まっています。これが、パラジウムの市場価格とその持続的なバックワーデーションに反映されています。

全車両の CO<sub>2</sub> レベルが 2020 年に欧州で導入される新しい制限を超えた場合に、自動車メーカーに課される非常に高額な罰金を減らすために、数多くの自動車メーカーは、NO<sub>x</sub> および CO<sub>2</sub> 排出量が非常に低いディーゼルハイブリッドモデルの販売数を増やしています。車両あたりのプラチナ積載量が増えることにより、2020 年のプラチナ需要が増加します。

### 工業用需要

プラチナの工業用需要は、2019 年には 1% (-1 トン) 減少し、59 トンになりました。これは、中国を中心とする化学産業におけるプラチナ使用の 6% (19 トン) の増加が、他のセグメントでの減少を相殺できなかった結果です。

2020年のプラチナの工業用需要は71トンと予測されています。これは主に、ガラス業界で期待されている堅実なパフォーマンスによるものです。中国の生産量の健全な増加と、日本の一部の炉のかなり大型な炉への交換により、液晶用ガラス炉の建設が進められるでしょう。ガラス繊維製造における需要は、世界的な生産量の継続的成長によって堅調さを維持すると予想されます。

**World Platinum Investment Council**のCEOである**Paul Wilson**（ポール・ウィルソン）は、次のようにコメントしています。「2019年11月に、私どもは2020年にはかなりの余剰が予測されると発表しました。しかし現在では、2020年には供給が需要をわずかに1.5%、または4トン上回る、ほぼ均衡のとれた市場を予測しています。2020年の供給は依然として制約を受けたものであり、工業用プラチナの需要が強く、自動車用触媒における成長の可能性があります。これにより、プラチナ投資家の関心がさらに高まり、プラチナへの投資が大きく成長すると思われま

す。「気候変動に対する取り組みへの世界的な注目の高まりにより、車両のCO<sub>2</sub>排出量を削減する重要性が高まっています。そのため、非常に効率の良いクリーンディーゼル車や燃料電池電気自動車が、短期および中期のソリューションとなる可能性があります。世界最大の乗用車市場である中国と北米で、プラチナが自動車触媒としてパラジウムに取って代わっているケースが、投資魅力として説得力を持っています。プラチナが代替のエビデンスや確証が出てくれば、投資需要がさらに高まると思われま

す。「マイナス利回りのため、世界の債務水準が持続的に上昇していることで、プラチナを含む貴金属への投資の魅力が依然として高まっています。コロナウイルスはグローバルリスクを大幅に増加させ、その結果、金価格が大幅に上昇し、プラチナへの投資をももたらしています。実需の大幅な成長可能性に加え、この様な状況がプラチナへの投資をさら魅力的なものにします。」

「*Platinum Quarterly*」最新版のダウンロードおよび／または今後調査結果を無料でお受取りになるための登録については、WPICのウェブサイト [www.platinuminvestment.com](http://www.platinuminvestment.com) をご覧ください。

| プラチナ需要供給バランス (単位: トン)      | 2017       | 2018       | 2019予測/2018<br>年度の成長率<br>(%) |             | 2020予測     | 2018年度Q4  | 2019年度Q1   | 2019年度Q4  |
|----------------------------|------------|------------|------------------------------|-------------|------------|-----------|------------|-----------|
|                            |            |            | 2019                         |             |            |           |            |           |
| <b>供給</b>                  |            |            |                              |             |            |           |            |           |
| <b>製錬高</b>                 | <b>191</b> | <b>190</b> | <b>191</b>                   | <b>0%</b>   | <b>188</b> | <b>49</b> | <b>46</b>  | <b>49</b> |
| 南アフリカ                      | 136        | 139        | 137                          | -1%         | 135        | 36        | 32         | 37        |
| ジンバブエ                      | 15         | 14         | 14                           | 0%          | 15         | 4         | 4          | 4         |
| 北米                         | 11         | 11         | 12                           | 6%          | 12         | 3         | 3          | 3         |
| ロシア                        | 22         | 21         | 21                           | 4%          | 21         | 5         | 6          | 4         |
| その他                        | 6          | 5          | 6                            | 9%          | 5          | 1         | 1          | 1         |
| <b>生産者製品在庫における増減 (+/-)</b> | <b>+1</b>  | <b>+0</b>  | <b>+1</b>                    | <b>150%</b> | <b>+0</b>  | <b>-1</b> | <b>+0</b>  | <b>+1</b> |
| <b>鉱山からの総供給量</b>           | <b>191</b> | <b>191</b> | <b>191</b>                   | <b>0%</b>   | <b>188</b> | <b>48</b> | <b>46</b>  | <b>50</b> |
| <b>リサイクル</b>               | <b>59</b>  | <b>60</b>  | <b>61</b>                    | <b>2%</b>   | <b>65</b>  | <b>15</b> | <b>15</b>  | <b>16</b> |
| 自動車触媒                      | 41         | 44         | 46                           | 5%          | 48         | 12        | 11         | 12        |
| 宝飾品                        | 17         | 16         | 15                           | -6%         | 14         | 4         | 4          | 4         |
| 工業                         | 0          | 0          | 0                            | 100%        | 2          | 0         | 0          | 0         |
| <b>総供給量</b>                | <b>250</b> | <b>251</b> | <b>253</b>                   | <b>1%</b>   | <b>252</b> | <b>63</b> | <b>61</b>  | <b>66</b> |
| <b>需要</b>                  |            |            |                              |             |            |           |            |           |
| <b>自動車</b>                 | <b>103</b> | <b>96</b>  | <b>90</b>                    | <b>-7%</b>  | <b>94</b>  | <b>24</b> | <b>24</b>  | <b>22</b> |
| 自動車触媒                      | 99         | 92         | 85                           | -7%         | 94         | 23        | 23         | 21        |
| ノンロード                      | 4          | 5          | 5                            | 3%          | 0          | 1         | 1          | 1         |
| <b>宝飾品</b>                 | <b>77</b>  | <b>70</b>  | <b>65</b>                    | <b>-7%</b>  | <b>64</b>  | <b>17</b> | <b>17</b>  | <b>15</b> |
| <b>工業</b>                  | <b>52</b>  | <b>59</b>  | <b>59</b>                    | <b>-1%</b>  | <b>71</b>  | <b>15</b> | <b>15</b>  | <b>14</b> |
| 化学                         | 18         | 18         | 19                           | 6%          | 20         | 4         | 5          | 5         |
| 石油                         | 3          | 7          | 7                            | -2%         | 6          | 2         | 2          | 2         |
| 電気                         | 7          | 6          | 6                            | -5%         | 4          | 2         | 2          | 2         |
| ガラス                        | 6          | 8          | 7                            | -2%         | 15         | 2         | 2          | 1         |
| 医療                         | 7          | 7          | 7                            | 0%          | 8          | 2         | 2          | 2         |
| その他                        | 12         | 13         | 12                           | -8%         | 19         | 3         | 3          | 3         |
| <b>投資</b>                  | <b>9</b>   | <b>0</b>   | <b>37</b>                    | <b>N/M</b>  | <b>20</b>  | <b>-2</b> | <b>24</b>  | <b>2</b>  |
| 地金・コインの増減                  | 7          | 9          | 7                            | -23%        |            | 2         | 2          | 1         |
| ETF保有高の増減                  | 3          | -8         | 31                           | N/M         |            | -4        | 22         | 1         |
| 取引所在庫の増減                   | -1         | -1         | 0                            | -25%        |            | 0         | 0          | 0         |
| <b>総需要量</b>                | <b>241</b> | <b>226</b> | <b>251</b>                   | <b>11%</b>  | <b>249</b> | <b>54</b> | <b>79</b>  | <b>54</b> |
| <b>残余量</b>                 | <b>9</b>   | <b>25</b>  | <b>2</b>                     | <b>-92%</b> | <b>4</b>   | <b>9</b>  | <b>-19</b> | <b>12</b> |
| <b>地上在庫</b>                | <b>74</b>  | <b>98</b>  | <b>100</b>                   | <b>2%</b>   | <b>114</b> |           |            |           |

メディア関連のお問い合わせ先: Elephant Communications  
 Guy Bellamy (ガイ・ベラミー) または Jim Follett (ジム・フォレット)  
[wpic@elephantcommunications.co.uk](mailto:wpic@elephantcommunications.co.uk)

編集者への注記:

### 『Platinum Quarterly』について

『Platinum Quarterly』は、世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される業界初のレポートです。

『Platinum Quarterly』は、World Platinum Investment Councilの出版物です。これは主に、2013年から2019年はSFA（在オックスフォード）、2020年以降はMetals Focusに依頼し、実施された調査および詳細な分析に基づいています。両機関とも、白金族金属市場において権威のある独立機関です。

**World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナム・インベストメント・カウンスル) について**

The World Platinum Investment Council Ltd. (WPIC) は、プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する、投資者の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPIC の使命は、実用に役立つ見識と目標を定めた商品開発を通じて、プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者により 2014 年に創設されました。WPIC の加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカン・プラチナ)、Impala Platinum (インパラ・プラチナム)、Northam Platinum (ノーザム・プラチナ)、Royal Bafokeng Platinum (ロイヤル・バフォケン・プラチナ) です。

詳細については、[www.platinuminvestment.com](http://www.platinuminvestment.com) をご覧ください。

WPIC 事務所住所: 64 St James's Street, London, SW1A 1NF.

### **SFA (Oxford) について**

SFA (Oxford) は 2001 年に設立され、白金族金属市場において最も重要な権威のある独立機関の 1 つであるとみなされています。本機関の徹底的な市場調査と完全性は、鉱山から、市場、リサイクルに至るコンサルティング業務、および他に類を見ない世界的な業界ネットワークにより裏付けられています。

SFA は、広範かつ多岐にわたる業界知識を有し、それぞれがバリュー・チェーンの主要分野を専門領域としている専属の PGM アナリスト 9 名、および世界各地を拠点とする多くの提携スタッフで構成されています。SFA は、お客様に対して、業界の未来に影響する最も困難な質問に対して回答を提供することが可能です。

データまたは論評のいかなる部分も、著者による書面での許可なしに、資本市場（資金調達）へアクセスする特定の目的のために使用することはできません。

詳細についてはこちらをご覧ください：<http://www.sfa-oxford.com>

### **Metals Focus について**

Metals Focus は、世界をリードする貴金属コンサルタント会社の 1 つです。同社は世界の金、銀、プラチナ、パラジウム市場の調査を専門とし、定期的なレポート、予測、カスタマイズされた特注のコンサルティングを行っています。Metals Focus チームは 8 か所の管轄区域を拠点とし、世界中に広範なコンタクトを持っています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに注力しています。

詳細についてはこちらをご覧ください：[www.metalsfocus.com](http://www.metalsfocus.com)

## プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の品質を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去 5 年間の年間プラチナ総供給量（精製済みオンス）の 76%~78%は、鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の 4 大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒における過去 5 年間のプラチナ需要は、総需要量の 36%から 43%の間を推移しています。その他の工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の 23%となっています（過去 5 年間の平均）。同じく過去 5 年間の宝飾品におけるプラチナ需要は、年間平均でプラチナ総需要の 31%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も小さいカテゴリーであると同時に、過去 5 年間で最も変化が大きく、総需要の 0%から 15%を占めています（未公開の地上在庫の増減を除く）。

## 免責事項

World Platinum Investment Council、SFA（在オックスフォード）、Metals Focus のいずれも、規制当局から投資アドバイスを行う許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資アドバイス、証券もしくは金融商品の販売または購入の提案を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家のアドバイスを求めてください。詳細については、[www.platinuminvestment.com](http://www.platinuminvestment.com) をご覧ください。